



熊野市立五郷小学校

いさと小だより

学校づくりのテーマ「明日も来たいと思う学校」第11号 2021年1月8日



……………新年明けましておめでとうございます……………



皆さまお健やかに新しい年をお迎えのことと思います。とは言え、コロナ禍にあって例年とは違った年末年始を過ごされたのではないかとも思っています。

昨日、首都圏1都3県に緊急事態宣言が再発令されました。コロナ感染予防対策の維持・強化の必要性が叫ばれる中、ここまで長期間に及びますと気疲れしてしまうのが正直なところですが、しかし、医療機関に携わる方々や保健施設に従事している方々に思いをはせたり、身の周りの方のお話や新聞やテレビ番組、インターネットなどの報道を耳にしたりするたびに、やはり感染防止の意識を高めていかなければならないなあと思います。そして、いつこの地域に感染が及んでも、人の心を傷つけてしまうことの無いように冷静に行動しなければならないと、自分自身に言い聞かせているところです。

「一月は往ぬる（行く）」「二月は逃げる」「三月は去る」とよく言われます。3学期はとにかく足早に過ぎてしまう大変短い期間です。実際に登校する日数を数えてみますと、6年生には48日、1～5年生には52日となっています。

そんな短い3学期ですが、学習や諸活動のまとめと進学や進級に備える大切な期間でもあります。この1年間の勉強や運動、日々の生活を振り返り、積み上げてきたことや培ったことを自信と次への飛躍のバネにしてほしいと思っています。



2021年は、「東京オリンピック・パラリンピック」、「三重とこわか国体・とこわか大会」の年です。一日も早いコロナ禍の終息を迎え、明るく希望に満ちた年になることを願うばかりです。また、丑年にちなんで申しますと、子どもたちには何事においても一步一步着実に力強く前進し成長していく年になることを期待しています。

子どもたち一人ひとりが「豊かな心と確かな学力」を備えられるよう、職員一丸となって頑張っていますので、本年もご理解とご協力の程どうかよろしくお願いします。

……………本年もどうかよろしくお祈りします……………

◆◆◆ ネイチャークラフト ～つるや木の実、落ち葉を使って～ ◆◆◆

昨年の11月から12月の活動になりますが、1・2年生や3・4年生ではクズのつるや木の実・落ち葉などを使って、写真のような作品を作っていました。これらには、創作の過程や出来上がった作品において、いろいろな意義や価値があるなあと思います。

- 自然にあるものの名前を知る・愛着を持つ
- 創作に向けて発想する・構想を練る
- 根気良く丁寧に作業する・上達する
- 友だちのよさに気付く・学ぶ
- 達成感を得る・自信をつける
- 見る人を楽しませる・和ませる



これらのほかにもあると思います。子どもたちは、意識しているといかないに限らず、いろいろな力を身に付けたはずですが、5・6年生の人たちも、低・中学年でこのようなことを積み上げて、さらに頑張ってきて今の姿があるのだと思います。